

発達障がいがある人に意思決定する力をつける①

—言語認知の問題に迫る—

お子さんを「理解する」ことから全ては始まります。

ご家族とともに延べ450名以上のアセスメントを積み重ねてきました。お子さんのピークの力をはかることから、その時々脳と身体の状態を明らかにし、将来の豊かな生活を実現するために、明日から何に取り組めば良いのか具体的な目標を設定する。それがたすくアセスメントです。

アセスメントを軸に一貫性と継続性のある支援体制を構築するためのたすくメソッドについてご紹介するとともに、これまで積んできた臨床研究結果から、最新の療育プログラムと特別支援教育の今後についてお届けいたします。

日時

平成30年6月17日(日)13:30～16:30
(13:15会場)

会場

札幌市中央区民センター

(札幌市中央区南2条西10丁目2)
※地下鉄東西線西11丁目駅3番出口から出ると便利です

定員

80名

費用

3,000円

講師

渡邊 倫

《お申し込み》

下記連絡先へ電話または
Emailにてご連絡ください。

○Email

sapporo@tasuc.com

○電話

011-676-4949

※お名前、ご住所、お電話番号、ご所属を記載して下さい

たすく札幌円山・発達支援室
担当：山口



【講師紹介】

教員として、盲教育と自閉症教育に8年間携わり、2008年に大学時代の先輩である齊藤宇開と共にたすく株式会社を創業。現在は青年期に対する事業を担当し、障がいのある子どもたちとその家族のために、良質で最新の療育・アセスメントの実践をしています。(現職：新宿早稲田アセスメントセンター事業部長、公職：東京都特別支援学校教育支援員(学校コンサルタント8校)など)

【主な著書】

「自閉症の療育カルテ-生涯にわたる切れ目のない支援を実現する-」「発達障がいのある子どものためのたすくメソッド1生活の基礎を身につける・三種の神器」「発達障がいのある子どものためのたすくメソッド2手を育てる-書字、包装、調理-」「発達障がいのある子どものためのたすくメソッド3アカデミック「国語」を学習する-読書、漢字仮名交じり文-」他